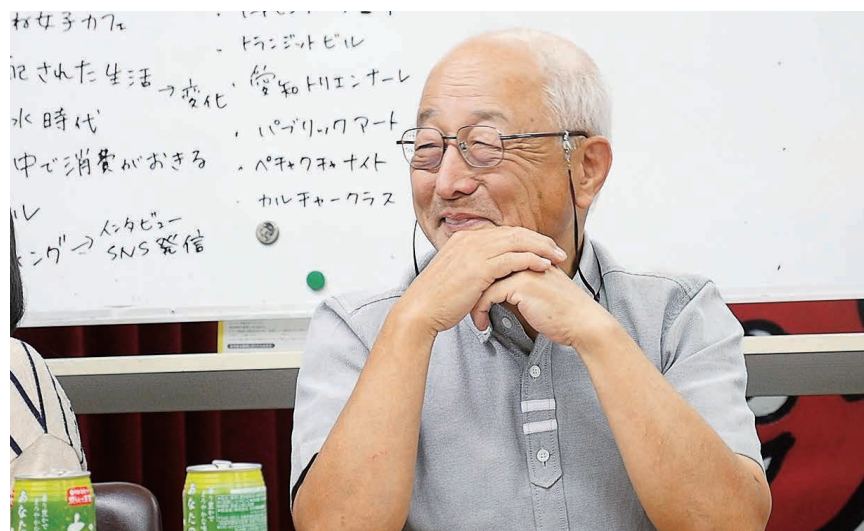


特集 頭巻 組合紹介

横川商店街振興組合

スポーツとアートによる賑わい創出 ～「横川人」と「集まり人」で 創る街おこし～

理事長
村上 正 氏



横川地区と商店街

横川地区は、明治以降、広島市中心部と周辺地域を結ぶ交通の要衝であり、戦後の復興期には、中央市場に入りする業者の仕入れや、周辺に数多くあった鋳物・針工場、製材所等の町工場で働く人々の物資提供・購買拠点として、その役割を果たしてきました。

このような中、横川商店街振興組合はJR横川駅に隣接する駅前商店街として昭和39年に設立され、地域

や来街者の生活を支えてきました。

現在商店街は、

- ①国産乗合バス発祥の地の商店街
 - ②アーティストを支える商店街
 - ③サッカーを応援する商店街
- の3本を柱に、地域住民や地元NPO、アーティスト等の内外の協力者と連携し、街おこしに取り組む、多彩な顔を持つ商店街です。

震災復興期には大きく賑わった横川地区ですが、昭和40年代後半から、郊外型店舗の増加や、地域中心産業の衰退・撤退等が相次ぎ、地域全体が重苦しい雰囲気になりました。

決定的だったのが平成6年のアストラムライン開業です。開通直後にはバス路線の3分の1が、横川駅を通過しないルートへ変更となり、横川駅利用者は激減し、商店街には空き店舗が目立ち、周囲に無力感が広がっていきました。

活性化の転機

危機感が募る中、転機となったのは「街が元気になるきっかけにしたい」と、消防団や子供会、公民館等の地域の諸団体と共に企画した「横川ふしぎ市」の開催です。

ざこちなく始まった連携ですが、「同じ地域に暮らすパートナー同士」の連帯感が生まれると共に、「商店街にとっての即効薬を期待するより、まず賑わいの拠点づくりから始めよう」という意識を醸成し、現在の横川商店街につながる歩みを地域一丸となって進み始めた大きな一歩でした。

商店街と地域の連携が深まる中、一連の動きは、我々の想像を超えて動き出しました。

様々な活動に、商店街・地元を中心とする「横川人」に加えて、地域外か



アーティストによる日本画ワークショップ

らの応援者「集まり人」がどこからともなく集い、街おこし活動に加わる人々がどんどん増えてきました。「集まり人」は、「横川人」と共に、色々な段階に応じて柔軟にグループをなして、時に協力者、または提案者となり、横川の街おこし活動は多様に広がり、商店街活動スローガンを生み、さらに、現在、商店街活性化のテーマに掲げている「スポーツとアートを起点にしたにぎわい創出」へと成長していきます。

スポーツ・アートイベントの進化

親父活性化委員会や広島市立大学芸術学部の協力を得た日本初の国産乗合バス「かよこバス」の復元プロジェクトは、イベントの神輿役や新商品キャラクター、映画館や横川演劇の物語素材にと発展しています。

バス復元事業を機にさらに関係が深まった地元アーティストは、当地を舞台に映画「横川サスペンス」を制作・上映し、大きな話題を呼びました。商店街が創作活動支援として提供するシェアアトリエにはアーティストが集い、アート活動のみならず商店街イベントにも協力してくれています。平成27年から始まった「横川ゾンビナイト」は、ハロウィンにちなみ、横川でゾンビまつりをしたいという若者やアーティストが内外から集結し、地元の企業・学校も巻き込



かよこバス

み、イベントを企画。来街者は2日間で17,000人を超え、新たな祭りとしてアーティストと共に育っています。

横川から「ビッグアーチ」へのバス発着からはじまった「サッカーを応援する商店街」は、広島県女子サッカー協会からの呼掛けに共感した「横川人」、「集まり人」が、NPO法人広島横川スポーツ・カルチャークラブ(以下:横川クラブ)を設立し、地域で支える女子サッカーチーム「アンジェヴィオレ広島」を結成。組合員が選手の雇用や活動支援を行うなど、まさに地域一体で支えるこのチームは、なでしこリーグを目指すとともに、サッカー教室や商店街イベントへの参加等、横川クラブとともに地域活動の中心を担っています。

元気でユニークな下町商店街

何れも我々商業人だけではできない事が、商店街と地域のコンテンツ・顔として育っています。

元来、横川には広島市中心部の発展に対する反骨精神からか、自助・共助の精神と、何にでも面白がり、受け入れる気風があり、地域外の「集まり



横川ゾンビナイト

人」は、賑わいの拠点づくりを進める我々にとって、大変心強い仲間として、地域の活性化に欠かせない存在であり、今では横川の魅力そのものとなっています。

これまで商店街や横川の活性化を願って色々なイベントに取り組んできましたが、一夜限りの賑わいに終わる徒労感を散々味わってきました。時代は変わり、高齢化・人口減少が進む今日、業種や形を問わず“この地に根を下ろし、地域と一緒に頑張れる仲間”を増やし、手を携えていくことで街の活力の源泉となり、商店街の活性化が図れるのではないのでしょうか？

ローカルな駅前商店街ですが、街に根を下ろして活動してくれる仲間を増やしていくことで“元気でユニークな下町商店街”であり続けたいと考えています。

(取材:総務部 高原幸貴)

横川商店街振興組合

広島市西区横川町3-1-18
TEL : 082-232-2434